

## COMPOSITE MAILING SERVICE SYSTEM

**Publication number:** JP60030245

**Publication date:** 1985-02-15

**Inventor:** URUI KIYOSHI; SEKIYA KUNIIHIKO; OUMIYA YUUZOU;  
OKANO MICHIAKI; KUMA KATSUHIKO

**Applicant:** TOKYO SHIBAURA ELECTRIC CO

**Classification:**

**- international:** H04M11/06; H04M3/00; H04M3/42; H04M3/53; H04M11/00;  
H04M3/533; H04M11/06; H04M3/00; H04M3/42; H04M3/50;  
H04M11/00; (IPC1-7): H04M3/00; H04M11/06

**- European:** H04M3/53M

**Application number:** JP19830138833 19830729

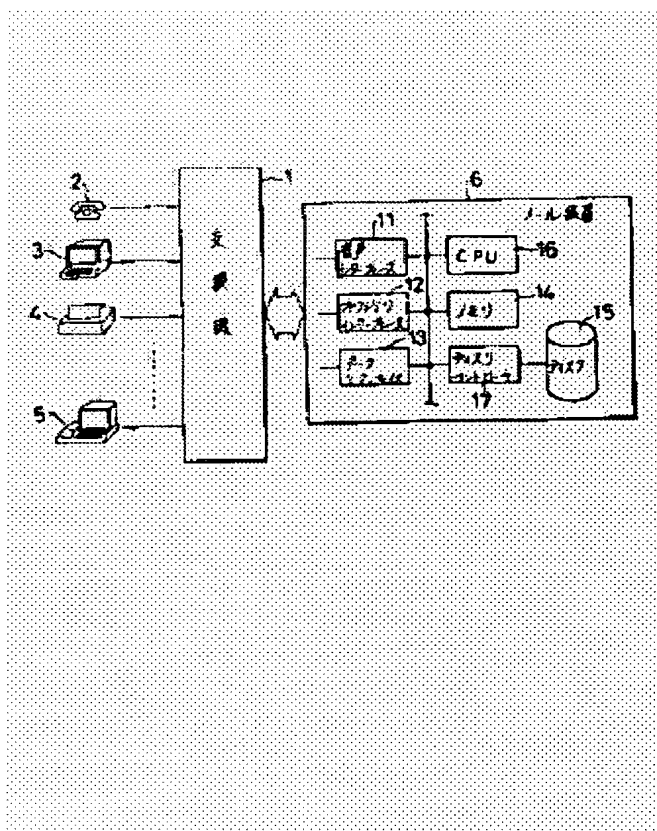
**Priority number(s):** JP19830138833 19830729

Report a data error here

#### Abstract of JP60030245

**PURPOSE:** To prevent the leak of transmission of a message by adding information which indicates the presence of a relative message to a message to be sent to the 1st media when one message belonging to plural media is sent out to a terminal equipment.

**CONSTITUTION:** A mailing device 6 is provided to send out messages stored on a memory 14, disk 15, etc., to terminal equipment such as a telephone set 2, data terminal 3, facsimile terminal 4, and composite terminal 6 through an exchange 1. Then, when one message to a terminal equipment consists of plural pieces of message information belonging to plural media, the information which indicates the presence of relative messages of other media is added to the message information of one medium to be fed to the terminal equipment firstly, offering the message service. Thus, one message consisting of message information extending over plural media is reported without any leak.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 60-030245

(43)Date of publication of application : 15.02.1985

(51)Int.Cl.

H04M 3/00  
H04M 11/06

(21)Application number : 58-138833

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 29.07.1983

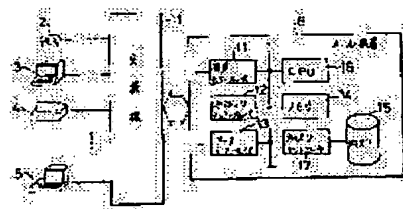
(72)Inventor :  
URUI KIYOSHI  
SEKIYA KUNIIHIKO  
OMIYA YUZO  
OKANO MICHIAKI  
KUMA KATSUHIKO

## (54) COMPOSITE MAILING SERVICE SYSTEM

## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the leak of transmission of a message by adding information which indicates the presence of a relative message to a message to be sent to the 1st media when one message belonging to plural media is sent out to a terminal equipment.

CONSTITUTION: A mailing device 6 is provided to send out messages stored on a memory 14, disk 15, etc., to terminal equipment such as a telephone set 2, data terminal 3, facsimile terminal 4, and composite terminal 6 through an exchange 1. Then, when one message to a terminal equipment consists of plural pieces of message information belonging to plural media, the information which indicates the presence of relative messages of other media is added to the message information of one medium to be fed to the terminal equipment firstly, offering the message service. Thus, one message consisting of message information extending over plural media is reported without any leak.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-30245

⑪ Int.Cl.<sup>4</sup>

H 04 M 3/00  
11/06

識別記号

庁内整理番号

7406-5K  
B-7345-5K

⑬ 公開 昭和60年(1985)2月15日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 複合メールサービス方式

⑮ 特 願 昭58-138833

⑯ 出 願 昭58(1983)7月29日

⑰ 発 明 者 関 井 清 川崎市幸区小向東芝町1番地 東京芝浦電気株式会社総合  
研究所内  
⑱ 発 明 者 関 谷 邦 彦 川崎市幸区小向東芝町1番地 東京芝浦電気株式会社総合  
研究所内  
⑲ 発 明 者 近 江 屋 勇 蔵 川崎市幸区小向東芝町1番地 東京芝浦電気株式会社総合  
研究所内  
⑳ 発 明 者 岡 野 道 商 川崎市幸区小向東芝町1番地 東京芝浦電気株式会社総合  
研究所内  
㉑ 出 願 人 株 式 会 社 東 芝 川崎市幸区堀川町72番地  
㉒ 代 理 人 弁 理 士 鈴 江 武 彦 外2名

最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

複合メールサービス方式

2. 特許請求の範囲

端末機器に対するメッセージ情報を、そのメッセージ情報が属するメディア毎に管理してメッセージサービスを行うに際し、上記端末機器に対する1つのメッセージが複数のメディアにそれぞれ属する複数のメッセージ情報によって構成されるとき、前記端末機器に最初にサービスするメディアのメッセージ情報に、他のメディアによる関連メッセージ情報が存在することを示す情報を付加してメッセージサービスを行うことを特徴とする複合メールサービス方式。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の技術分野〕

本発明は交換機ネットワークに接続された端末機器に対して複数のメディアによるメッセージ情報を効果的にサービスすることのできる複合メールサービス方式に関する。

〔発明の技術的背景とその問題点〕

近時、交換機ネットワークに設けられたメール装置を用いて、音声、イメージ、電子コード等の各種メッセージ情報を、上記ネットワークに接続された端末機器に対して同報、回覧、親戚等のメールサービスを行うことが考えられている。上記メール装置は各種のメッセージ情報を、そのメッセージ情報が属するメディア毎に蓄積管理し、例えば電話端末を用いた音声サービス、ファクシミリ装置を用いたイメージサービス、データ端末を用いたキャラクタ・コード等による電子メールサービス等を行うものである。

しかし従来、これらのメッセージ情報は、そのメディア毎に独立に蓄積管理されているが、情報処理技術の発展、および記憶装置の小型化大容量化等に伴って、複数のメディアにそれぞれ属するメッセージ情報を統一的に管理することが試みられている。そして、そのコミュニケーションの質的向上を図るべく、1つのメッセ

ージを複数のメディアにそれぞれ属する複数のメッセージ情報で構成することが考えられている。例えば、音声コメント付会議通知書、音声コメント付回路図等を1つのメッセージとすることが考えられている。このような場合、メッセージサービスを受ける端末側では、何らかの手段によって、サービスを受けたメディアのメッセージ情報以外に、他のメディアによる関連したメッセージ情報が存在することを知らせることが必要となる。然し乍ら、従来のシステムにあっては、これらのメッセージ情報がそのメディア毎に管理されている為、上記複数のメディアに亘るメッセージ情報からなる1つのメッセージを効果的に受け取ることができないと云う不具合があった。

#### 〔発明の目的〕

本発明はこのような事情を考慮してなされたもので、その目的とするところは、端末機器に対する1つのメッセージが複数のメディアにそれぞれ属する複数のメッセージ情報にて構成さ

れるとき、これらのメッセージ情報を前記端末機器に対して効果的にサービスすることのできる実用性の高い複合メールサービス方式を提供することにある。

#### 〔発明の概要〕

本発明は端末機器に対する1つのメッセージが複数のメディアにそれぞれ属する複数のメッセージ情報からなるとき、上記端末機器に最初にサービスするメディアのメッセージ情報に、他のメディアによる関連したメッセージ情報が存在することを知らせる情報を付加してメッセージサービスを行うようにしたものである。即ち、端末機器が最初にアクセスしたメディア、または上記端末機器に最初に提供されるメディアを用いて、他のメディアによるメッセージ情報が存在することを知らせるようにしたものである。

#### 〔発明の効果〕

かくして本発明によれば、最初にサービスされたメディアの情報によって、他のメディアに

よる関連したメッセージ情報の存在を知ることができるので、その他のメディアのメッセージサービスを速やかにアクセスして、そのメッセージを効果的に受取ることが可能となる。従って、複数のメディアの各性質をそれぞれ有効に活かしたメッセージを構築することが可能となり、実用上多大なる効果が奏せられる。しかも、最初にサービスするメディアによって他のメディアによる関連メッセージ情報の存在を知らせるので、メッセージの漏れを効果的に防ぎ、内容の充実したメッセージサービスを可能とする等の利点がある。また、その管理・制御も簡単である。

#### 〔発明の実施例〕

以下、図面を参照して本発明の一実施例方式につき説明する。

第1図はメールサービス機能を備えた交換機ネットワークの概略構成図であり、図中1は任意の端末機器間の交換接続を行う交換機である。この交換機1に、音声メディアを扱う端末機器

としての電話機2、イシージャコードをディスプレイ表示してイメージ・メディア、電子コードメディア等を扱うデータ端末3、ファクシミリイメージ・キャラクターコードで示されるキャラクター等を紙面に表わすファクシミリ端末4、音声・イメージ・コード等を統合して扱う複合端末5等がそれぞれ接続される。交換機1は、これらの端末機器をそれぞれライン回路に接続すると共に、トランク回路を介して局線等を接続するもので、全体の呼処理を行うCPUの制御の下でスイッチ回路を切換え、任意の端末機器間の交換接続を制御する。しかして、この交換機1にはメール装置6が接続されている。メール装置6は、音声インターフェース11、ファクシミリインターフェース12、データインターフェース13を備え、音声メディア、イメージメディア、電子コードメディア等の異種メディアの各メッセージ情報をそれぞれ統一データとして取扱い、メモリ14やディスク15等に蓄えている。そして、これらの各メッセージ情

報をCPU 16の制御の下で、任意のタイミングで取出し、これをアクセスした端末機器、あるいはメッセージ指定された端末機器に対してメッセージサービスするものとなっている。尚、図中17は、前記ディスク15のインターフェースを司るディスクコントローラである。

しかして、このように構成されたシステムにあって、メッセージ情報の登録は次のようにして行われる。今、音声メディアによるメッセージ情報の登録を例に説明すると、先ず電話端末2からメール装置6をアクセスするべく、交換機1に対してアクセスコードがダイヤルされる。これを受けて交換機1は上記電話端末2とメール装置6とを回線接続し、メール装置6から電話端末2に対して回線接続完了のメッセージが送られる。しかるのち、電話端末2からメッセージ相手先のコード(ダイヤル情報)が入力され、これに続いて音声によるメッセージ情報が入力され、これらがメール装置6内に登録される。このメッセージ登録に際しては、メッセー

ジの時刻指定、親展・同報等のメッセージサービス種別の指定等が同時に行われる。この例は、音声メディアによるメッセージ情報の登録形態であるが、他のメディアに依る場合にも同様に行われる。そして、これらのメッセージ情報は、メッセージ相手先の所謂メールボックス内にそれぞれ分類して登録されることになる。このようにしてメールボックスに登録されたメッセージ情報は、メッセージ相手先の電話端末2によるメッセージアクセスによって自由に供給されたり、或いは所定の条件下でメール装置6からメッセージ相手先の電話端末2を呼び出して提供される。

ところで、このようにして登録される複数のメディアの各メッセージ情報を以て、端末に対する1つのメッセージを構成すれば、内容の充実したメッセージを構築することが可能となる。然し乍ら、これらの複数のメッセージ情報はそのメディア毎に管理され、メッセージ相手先がどのメディアによって該メッセージをアクセス

してくるかが不明である。しかも、メッセージ相手先は、そのメッセージがどのメディアのメッセージ情報によって構築されているかを一般に知らない。そこで本方式にあっては、メッセージ相手先からのアクセス、或いは所定条件下によるメール装置6からのメッセージの提供時に、最初に提供するメディアのメッセージ情報に他のメディアによる関連メッセージ情報の存在を知らせる情報を付加してメッセージ・サービスを行うようにしている。第2図はその一例を示す処理手順を示すもので、音声メディアによるアクセスを受けたときの場合を示している。即ち、音声メディアによるメッセージのアクセスを受けたとき、そのメッセージを構成する他のメディアのメッセージ情報が存在するか否かを調べる。そして、他のメディアによるメッセージ情報が存在しない場合には、音声メディアによるメッセージ情報をそのままサービスする。また他のメディアによるメッセージ情報が存在する場合には、上記音声メディアによって、そ

のメッセージ情報と共に、他のメディア、例えばキャラクタディスプレイ(CD)やファクシミリによるメッセージ情報が存在することを知らせる。これによって、音声メディアによるメッセージ受取者は、CDやファクシミリによる関連メッセージ情報が存在することを知らることが可能となる。従って、前記音声メディアによる情報に従ってデータ端末3やファクシミリ装置4等をアクセスすることによって、他のメディアの関連メッセージ情報を効果的に得ることが可能となる。

尚、最初にデータ端末によるグラフ情報のメッセージをアクセスした場合には、例えば第3図に示すようにグラフ表示画面中に「音声によるメッセージがあります」等の情報を付加してメッセージサービスを行うようにすればよい。これにより、メッセージ受取者は電話機によるメッセージ・アクセスを行い、音声とディスプレイ画面とにより内容の充実したメッセージを得ることが可能となる。

第4図は、音声メディアによるメッセージ・アクセスによってファクシミリとキャラクタ・ディスプレイを用いたメッセージ情報が存在することを知ったときの、端末機器間の接続手順を示すものである。この手順で示されるように、最初にアクセスしたメディアからの他のメディアに関する情報を得、これらのメディアに対応した端末機器をメール装置6にそれぞれ回線接続して、各メディアのメッセージ情報を受けとることによって、例えばファクシミリおよびキャラクタ・ディスプレイで表示されたメッセージを見ながら、その説明を音声によって受けることが可能となる。

以上説明したように本発明によれば、最初にサービスされるメディアによって、他のメディアによる関連したメッセージ情報の存在が端末機器に通知されるので、複数のメディアに亘るメッセージ情報からなる1つのメッセージを分離することなしにサービスすることが可能となる。しかも、メッセージの種類によっては、他

のメディアのメッセージ情報を必要とするか否かを端末機器側で選択することができるので、効率の良いメッセージサービスが可能となる。そして、前述した如く、複数のメディアがそれぞれ有する性質を有効に利用してメッセージを提供することができるので、その質的向上を図ることができる。

尚、本発明は上記実施例に限定されるものではない。例えば、実施例では端末機器とメール装置とを交換機を介して回線接続したが、上記端末機器とメール装置とを直接接続してもよい。また、メッセージに利用されるメディアも上述した例に限定されない。要するに本発明はその要旨を逸脱しない範囲で種々変形して実施することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

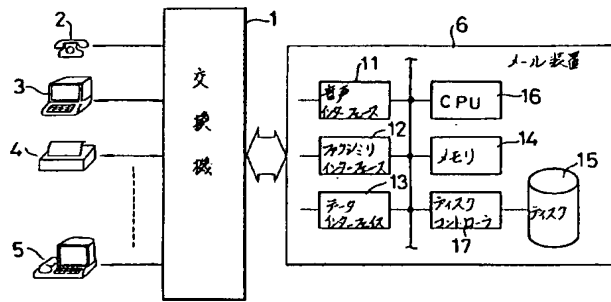
図は本発明の一実施例方式を説明する為のもので、第1図は交換機ネットワークの概略構成図、第2図はメッセージサービスの手順を示す図、第3図はディスプレイ画面によるメッセー

ジの一例を示す図、第4図はメッセージサービスを行う為の端末機器間の接続手順を示す図である。

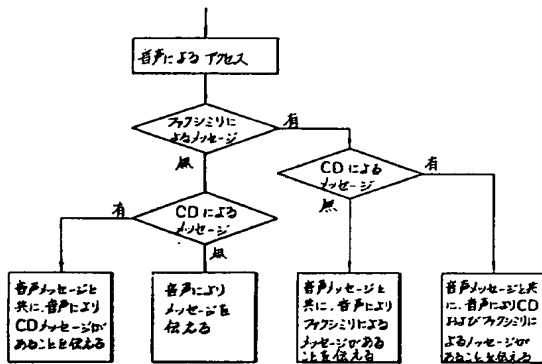
1…交換機、2, 3, 4, 5…端末機器、6…メール装置、11, 12, 13…インターフェース、14…メモリ、15…ディスク、16…CPU、17…ディスクコントローラ。

出願人代理人 弁理士 鈴 江 武 彦

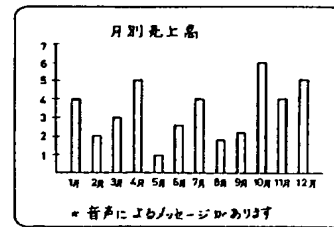
第 1 図



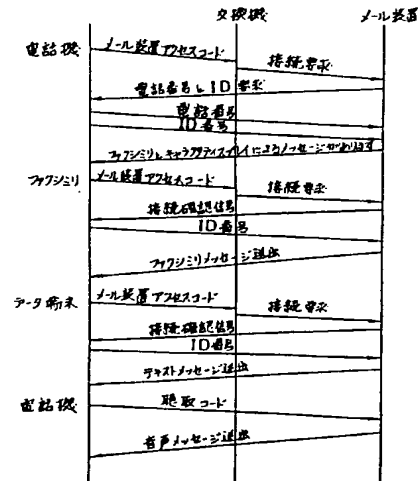
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 1 頁の続き

②発 明 者 熊

勝 彦

川崎市幸区小向東芝町 1 番地 東京芝浦電気株式会社総合  
研究所内